

## 時代に対応した授業改善

始良・伊佐教育事務所長 永田 孝哉

「令和3年度は少しはよくなっているかも」と、期待を込めて過ごした我慢と苦勞の昨年度でしたが、本年度もやはり苦しいスタートとなりました。しかし、どのような状況であっても、私たちは学校教育活動を少しでも前へ進めなければなりません。各学校において、昨年度の経験を生かして、「正しく恐れ、適切に対応」を基本として、「学校教育をあきらめない」という信念で、立ち向かっていることに心から敬意を表します。

子供たちが生きる時代は、まさに今がそうであるように、予測不能・困難化・複雑化等とされています。言葉にすればシンプルですが、具体を考えると(SDGsなど)、とても大変な時代であると思いませんか。このような時代を生きるためには、自分で考える力、他者と協力して最善策を創り出す力、できると信じて行動するあきらめない力など、これまで以上に多様な力が必要となることは明らかです。子供たちが身に付けなければならない力は、今や未来を生きるための力というレベルではなく、想定されている課題を乗り越え共に暮らしやすい未来へと変えていく、または新たな未来を創っていくというレベルぐらいの力です。それを学習指導要領の前文では、「持続可能な社会の創り手」と述べているのではないのでしょうか。

そのような力を子供たちが身に付けるために、私たちの授業も変わらなければなりません。授業で「めあて」と「まとめ」の整合性が取れていればそれでいいという時代は終わりました。「わかる、できる」だけを求める授業では、深まりや広がりが見られません。学力を身に付けさせることを目的とし、子供たちがどのような学びの過程で学力を身に付けていくか、学びを何とつなげていくかを踏まえながら、授業を改善していかなければなりません。そこで、授業改善の一手となるのが、ICT機器のフル活用です。同じ学力を身に付けるのにICT機器を使って獲得した子供と、そうでない過程で獲得した子供とでは、学習経験の多様性や情報活用能力の伸びに違いが出てきます。公平に与えられたICT機器を使って学ぶか、学ばないか、この経験が、子供たちの今後の人生にも少なからず影響を及ぼすことは、容易に想定されると思います。

私たちは、授業の成立のための「指導のためのICT」から、学びの確立のための「学習のためのICT」へとシフトチェンジしていかなければなりません。まずは、調べ学習やドリル学習の活用からでもよいかもしれませんが、これだけだとこれまでのパソコン室学習とほとんど変わりません。思考・表現・協働・探究のためのツールとして活用していく可能性を追求し、質の高い学びを確立させていきたいと思います。「学習のためのICT」としての活用が、学びに時間と空間の広がりを生み、自分の学びが他者と社会と未来へと繋がっていくという実感を得る一助ともなるのではないのでしょうか。GIGAスクール元年を、授業改善元年として切り開いていきたいと思います。



## 緊張感をもったコロナ対策をお願いします

要注意

### 飛沫感染リスクが高い学習活動例

- ・ ペア・グループによる対話活動
- ・ 実験、制作や鑑賞など密集を伴う活動
- ・ 歌唱やリコーダー等の楽器演奏
- ・ 調理実習や給食時間、食後の歯磨き



### 基本対策の徹底



コロナ感染 病氣 不安  
3つの「こわい顔」 差別

誰もが、可能性があります。

**STOP! コロナ!**

**STOP! いじめ、偏見、差別!**



# 大切にしたい資料作成ポイント<sup>フォー</sup>4

授業で、学級通信で、PTAで…私たちは、考えや思いを伝えるために資料を作成します。相手によりよく伝わるためには、資料作成の工夫に心掛けなければなりません。

第1回地区校長研修会では、「資料作成ポイント<sup>フォー</sup>4」に基づいて資料を作成し、学校経営説明会を想定した、「プレゼン/ロールプレイ研修」を行いました。



第1回始良・伊佐地区校長研修会  
(4月30日 @ 始良市公民館)

## 資料作成<sup>フォー</sup>ポイント4

**インパクト**:相手の心に刺さる言葉で

**コンパクト**:要点を絞って簡潔に

**ダイレクト**:思いが真っ直ぐ伝わるように

**リスペクト**:相手への敬意をもって

## Go! Go! GIGAスクール!

指導のためのICTから  
学習のためのICTへ

「GIGAスクール元年」を迎えて2ヵ月。子供たちの学習状況や先生方の反応はいかがでしょうか？子供たちが積極的にICTを使っている学級の先生に話を聞いてきました。

### — タブレットを使った学習には慣れましたか？



初めは使い方が分からなかったけど、分かったら楽しいです。いま、授業で発表するプレゼンを作っています。



子供が慣れるのは早いですね。今はどの教科でも、ほぼ毎時間使っています。

### — タブレットを使った学習のいいところは？



自分の席から、クラスみんなのノートを見ることが出来ます。分からない時に、画面にヒントが出てきたり、先生が近くに来て教えてくれたりします。



自作の思考ツールをいくつか送信して子供が好きな方法を選べるようにしています。「提出箱」で子供のノート画像を回収して個々の学習状況を把握できるので、効率良く机間支援ができるようになりました。子供たちが生き生きと積極的に活動しているように思います。



ロイノートで協働的に学ぶ生徒たち

○ タブレットは使っていく過程で

**積極的 > 効果的**から

**積極的 = 効果的に!**

○ コロナ禍におけるタブレット使用で見えてきた有用性

いつでもどこでも

**使えるように!**

## 服務規律の厳正確保

※※ 不祥事根絶 ※※

令和2年度  
県内懲戒処分件数

交通違反・事故	2	件
わいせつ・セクハラ	4	件
飲酒運転	2	件
義務違反	2	件
その他	1	件



**後悔先に立たず**  
どれだけ後悔しても、時を戻すことはできません。

**油断大敵**  
「自分は、大丈夫。」その慢心が最大の危険です。服務指導を自分ごととして捉えてください。

**問題は自分だけで終わらない**  
自分に関わる全ての方々を忘れず、教育公務員としての自覚と誇りをもってください。



## シズ! 始良・伊佐教育事務所員が紹介する 私の元気の出る言葉⑥

「他人には見えて自分には見えない幸福の中で格別驚きもせず幸福に生きていることが—。」

吉野 弘 作詩『虹の足』に出てくる言葉です。教科書に掲載されたこともあります。大きな虹に包まれた家、驚きもせず変わりなく過ごしている村の人々の様子を、偶然、間近に眺めた作者が書いた詩です。

不安や迷い、辛いと感じる時間さえも、実は、自分が気付いていなかった「幸福」で、一つ一つの出来事が大切な出会いなのだ、自分自身の気持ちを変えてくれた大切な言葉です。(K.S)

# 人権教育は全ての教育の基本！

一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすること

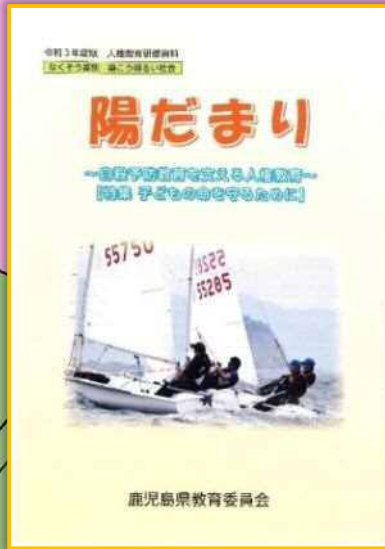
学習指導要領前文から引用

「自分を大切に 他の人も大切に」という「人権尊重の理念」と同じ考え

リニューアル！人権教育研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会 『陽だまり』」

より活用しやすくするために、これまでの資料「なくそう差別 築こう明るい社会」と「仲間づくり」(特集ページと資料)が、1冊になりました。日々活用を！

## 人権尊重の精神に立つ 学校づくり



鹿児島県教育委員会

## 特集 子どもの命を守るために



自衛予防教育に関する資料やワークシート、相談窓口等について掲載されています。

## チーム学校で取り組む 人権教育



県教育庁 人権同和教育課 HP



## 人権が尊重される環境づくり



栗野中学校の取組が掲載されています

## 「君は君のままでいい」 (相談窓口PR動画)



文部科学省でも相談窓口が設置されています。

## 子供のSOSダイヤル等の相談窓口

24時間子どもSOSダイヤル (相談員専用) なやみ窓あう  
0120-0-78310



24時間子どもSOSダイヤル 0120-0-78310

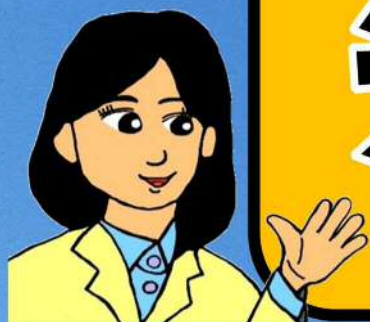
教員免許状を  
所有している方へ！

小・中学校の  
臨時的任用教員  
を募集しています。

始良・伊佐地区の小・中学校で

**先生**を

しませんか！



未来を拓く子供たちが  
あなたとの「出会い」を待っています！

年間を通して募集しています。

- 免許状更新講習についての相談も承ります。
- 養護助教諭，栄養教諭，事務職員も募集しています。

⇒ **まずはお電話ください！！**

始良・伊佐地区

霧島市，伊佐市  
始良市，湧水町

連絡先

始良・伊佐教育事務所 管理課  
〒899-5212  
鹿児島県始良市加治木町諏訪町 12  
(始良・伊佐地域振興局内)  
電話 0995-63-8133



始良・伊佐教育事務所HP